

令和4年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市民会館おおみや
(2)施設概要	①所在地 さいたま市大宮区大門町2丁目118 ②施設の設置目的 市民の文化の向上と福祉の増進を図る ③施設の概要(令和4年4月1日開館) 演奏会や舞踊発表会、講演会、式典など芸術・文化活動の拠点として、また会議やサークル活動などビジネス、生涯学習活動、市民活動の拠点としても利用できる ●大ホール(1,400席) ●小ホール(340席) ●リハーサル室 ●レクリエーションルーム ●スタジオ(6室) ●集会室(10室) ●和室 ●展示室(3室)等
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料 令和2年度132,693千円、令和3年度128,986千円、令和4年度146,316千円 ※令和3年度以前分は旧市民会館おおみやの実績。
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ※コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数の制限及び利用中止時の全額還付・変更の拡大受付を実施した期間あり ※前年度分は旧市民会館おおみやの実績。 ◇利用状況 ・利用者数 693,380人(前年度 295,295人) ・利用率 77%(前年度 61%) ・稼働率 55%(前年度 41%) ◇業務実施状況 ・施設の利用許可、利用料金の収受・還付 ・施設、附属設備の維持管理 ・文化芸術事業の実施

	②維持管理業務の状況 ・総合管理業務(警備・清掃・設備)〔毎日〕 ・舞台管理業務〔毎日〕 ・機械警備業務〔毎日〕 ・一般廃棄物収集運搬処理業務〔毎日〕 ・産業廃棄物収集運搬処理業務〔適宜〕 ・エレベーター保守点検業務〔年12回〕 ・エスカレーター保守点検業務〔年12回〕 ・自動ドア保守点検業務〔年4回〕 ・シャッター保守点検業務〔年1回〕 ・舞台機構設備保守点検業務〔年4回〕 ・舞台音響・映像設備保守点検業務〔年2回〕 ・リハーサル室等音響映像設備保守点検業務〔年1回〕 ・舞台照明設備保守点検業務〔年2回〕 ・ピアノ保守点検業務〔年1～3回〕 ・空調フィルター清掃〔年4回〕 ・モジュールチラー保守点検業務〔年3回〕 ・EHP/全熱交換器保守点検業務〔年1～2回〕 ・雑排水管清掃〔年1回〕 ・電動式移動観覧席保守点検業務〔年1回〕 ・自動制御設備保守点検業務〔年1回〕 ③その他の業務 「RaiBoC Hallオープニング記念コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団」、「RaiBoC Hallオープニング記念コンサート 小山実稚恵ピアノリサイタル」等、主催事業26事業、共催事業19事業の計45事業を開催。新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催事業1事業を開催中止。																																
(6) 収支状況	※前年度分は旧市民会館おおみやの実績。 ①収入 <table><tr><td>・指定管理料</td><td>146,316千円</td><td>(前年度</td><td>128,986千円)</td></tr><tr><td>・利用料金収入</td><td>163,044千円</td><td>(前年度</td><td>31,359千円)</td></tr><tr><td>・文化事業収入</td><td>51,820千円</td><td>(前年度</td><td>7,875千円)</td></tr><tr><td>・その他収入</td><td>110千円</td><td>(前年度</td><td>3千円)</td></tr></table> ②支出 <table><tr><td>・人件費</td><td>100,200千円</td><td>(前年度</td><td>49,641千円)</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>3,155千円</td><td>(前年度</td><td>1,603千円)</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>237,913千円</td><td>(前年度</td><td>101,393千円)</td></tr><tr><td>・文化事業費</td><td>72,938千円</td><td>(前年度</td><td>15,095千円)</td></tr></table>	・指定管理料	146,316千円	(前年度	128,986千円)	・利用料金収入	163,044千円	(前年度	31,359千円)	・文化事業収入	51,820千円	(前年度	7,875千円)	・その他収入	110千円	(前年度	3千円)	・人件費	100,200千円	(前年度	49,641千円)	・事務費	3,155千円	(前年度	1,603千円)	・施設管理費	237,913千円	(前年度	101,393千円)	・文化事業費	72,938千円	(前年度	15,095千円)
・指定管理料	146,316千円	(前年度	128,986千円)																														
・利用料金収入	163,044千円	(前年度	31,359千円)																														
・文化事業収入	51,820千円	(前年度	7,875千円)																														
・その他収入	110千円	(前年度	3千円)																														
・人件費	100,200千円	(前年度	49,641千円)																														
・事務費	3,155千円	(前年度	1,603千円)																														
・施設管理費	237,913千円	(前年度	101,393千円)																														
・文化事業費	72,938千円	(前年度	15,095千円)																														
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から要望を寄せられていた電話による舞台打合せの実施について、柔軟に対応した。 ・6階集会室エリアのトイレ案内表示が判りづらいと改善を要望されたため、新たに案内表示を作成した。																																
(8) その他																																	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
管理運営体制、緊急時の対応	・「危機管理ガイド・マニュアル」に基づき、危機管理の環境整備及び体制強化に努めた。 ・大宮門街管理組合によるビル全体の消防訓練に参加するとともに、館独自の消防訓練を実施した。 ・防火管理者及び防災管理者並びに普通救命講習Ⅰの資格取得者を配置した。 ・緊急時における職員間の連絡にSkypeを活用し、連絡体制を整備した。 ・「個人情報保護規程」及び「個人情報保護方針」に基づき、個人情報保護の遵守に努めた。 ・管理業務が適切に行えているかどうかを客観的に把握するため「利用者アンケート調査」を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として館内環境の整備や利用者への周知等を徹底した。
利用支援計画	・公衆無線LANの提供及び利用者用コピー機の設置、FAXサービスの実施、タクシー会社の情報提供を行い、利用者の利便性向上に努めた。 ・車いすや正座椅子、子ども用クッション、ブランケットの貸出サービスを行った。 ・「アドバンスBOX」(ご意見箱)を活用し、利用者の要望を施設運営に反映させるよう努めた。 ・「職員研修要綱」に基づき、接遇研修等を実施し職員の資質向上を図った。 ・筆談ボードを設置し、必要に応じて筆談による受付対応を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非接触型体温計の貸出しを行った。
自主事業計画	・「RaiBoC Hallオープニング記念コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団」、「RaiBoC Hallオープニング記念コンサート 小山実稚恵ピアノリサイタル」等を開催し、新たな会館を市民の皆様に周知することができる事業を実施した。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用」

・さいたま市文化会館条例・施行規則その他関係法令を遵守するとともに、ユニバーサルサービス・ユニバーサルデザインを意識し、市民の平等かつ公平な利用に努めた。

「市民サービスの向上」

・様々な市民サービスを実施する一方、お客様の要望に沿っているのかを確認するため、アドバンスBOXや利用者へのアンケート調査を実施し、サービスの向上に努めた。

「利用促進」

・文化芸術鑑賞事業を中心に、新聞へのチラシ折込み、会館独自の情報誌「RaiBoC Navi」の配布などを行い、参加率向上を目指した。また、事業団情報誌「SaCLa」を各区役所、公共施設等に配布し利用促進に努めた。

「経費の削減」

・消耗品の共同購入や軽微な設備不良は外注とせずに対処するなど、経費の削減に努めた。

「適正な管理運営の確保」

・危機管理ガイド、危機管理マニュアルの整備や緊急時の連絡手段としてSkypeを活用するなど、管理運営の確保に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・新型コロナウイルス感染症の影響や生活様式の変化により、利用者の借り控え傾向があるが、施設稼働率及び利用率は前年度を上回り、利用者数も改善している。

・新施設になり、利用者からの声にソフト面でもハード面でも日々改善をしている。

・利用者アンケートに基づくサービス向上に努めていた。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めていた。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定期的な消毒を行うなど適切な対応を行っていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。